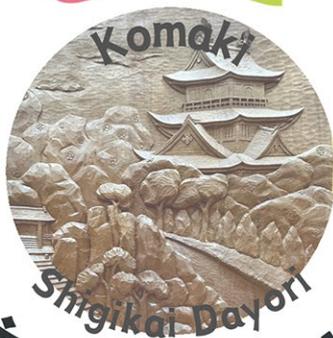




こまき



市議会だより

2025 **2**  
No.209

topics .....

- 令和6年度一般会計補正予算を含む議案42件を可決
- 18人の議員が一般質問を実施
- 市議会は初招集から70年を迎えました

表紙デザインを  
リニューアルしました!



# 第4回定例会

会期 11月29日から12月19日  
までの21日間

条例案11件をはじめ、合計42議案を審議しました。  
上程された主な議案と審議結果は次のとおりです。

## 条例

▽職員給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

人事院勧告に準じて、職員の期末手当及び勤勉手当の支給割合の変更並びに給料月額等の改定を行うとともに、配偶者に係る扶養手当を廃止し、子に係る扶養手当の額を引き上げる等のため行うもの。

▼詳細はこちら



## 一般

▽事故に係る損害賠償の額の決定について

市民病院における事故に係る損害賠償の額（2850万円）を決定するもの。

## 補正予算

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ31億4408万5000円増額し、664億2546万8000円とするものです。  
（主なものは3、4ページの委員会審査報告をご覧ください）

## 人事

▽固定資産評価審査委員会委員の選任

・板津 浩平 氏（再任）

## 請願審議

▽ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願書

…不採択

# 第4回定例会

## ◇上程議案と審議結果◇

※否決された議案はありませんでした。

議決結果	件名	議決結果	件名
	<b>条例案 11件</b>		<b>補正予算案 22件</b>
全員一致	職員旅費支給条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	一般会計補正予算(第4号)
全員一致	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	全員一致	国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
全員一致	地域包括支援センターの運営方針並びに職員に係る基準及び職員の員数を定める条例及び小牧市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	尾張都市計画事業小牧文津土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
全員一致	国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
全員一致	遺児手当支給条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	尾張都市計画事業小牧南土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
全員一致	下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	尾張都市計画事業小牧本庄土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
全員一致	市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
賛成多数	職員給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定特別職の給与に関する条例及び議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
賛成多数	教育委員会教育長の給与、勤務条件等に関する条例及び特別職に属する職員の退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	病院事業会計補正予算(第2号)
全員一致	議会個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定	全員一致	水道事業会計補正予算(第1号)
	<b>一般議案 6件</b>	全員一致	下水道事業会計補正予算(第1号)
全員一致	小牧文津調整池整備工事請負契約の締結	賛成多数	一般会計補正予算(第5号)
全員一致	小牧南調整池整備工事請負契約の締結	賛成多数	一般会計補正予算(第6号)
全員一致	事故に係る損害賠償の額の決定	全員一致	国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
全員一致	事故に係る和解及び損害賠償の額の決定	全員一致	尾張都市計画事業小牧文津土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
全員一致	こまき市民交流テラスの指定管理者の指定	全員一致	尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
全員一致	篠岡児童館の指定管理者の指定	全員一致	尾張都市計画事業小牧南土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
	<b>専決処分承認案 1件</b>	全員一致	尾張都市計画事業小牧本庄土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
全員一致	専決処分の承認	全員一致	介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
		全員一致	病院事業会計補正予算(第3号)
		全員一致	水道事業会計補正予算(第2号)
		全員一致	下水道事業会計補正予算(第2号)
			<b>人事案 1件</b>
		全員一致	固定資産評価審査委員会委員の選任
			<b>諮問 1件</b>
		全員一致	人権擁護委員候補者の推薦

表決結果の分かれた議案

※議員名は会派別、50音順です

第4回定例会	牧政会											こまき民主市議団			日本共産党小牧市議団		公明党小牧市議団			無会派					
	阿部 哲己	石田 知早人	長田 淳	河内 光	河内 伸一	木村 哲也	小島 倫明	佐藤 悟	鈴木 裕士	永井 孝典	舟橋 秀和	余語 智	小川 真由美	小沢 国大	諸岡 英実	谷田貝 将典	猪飼 健治	安江 美代子	山田 美代子	加藤 晶子	佐藤 早苗	星熊 伸作	伊藤 皇士郎	大上 利幸	黒木 明
特別職の給与に関する条例及び議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	退	×	○	○	○	×	×	○
教育委員会教育長の給与、勤務条件等に関する条例及び特別職に属する職員の退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×
令和6年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	欠	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○

■ 表示は、「○:賛成」、「×:反対」、「退席」、「欠席」です。  
 ■ 賛否の分かれたものの結果については、議員からの申し出に基づき掲載しております。  
 ■ 議長は、通常、採決には参加していませんが、採決の結果、可否同数の場合にのみ態度を表明できます。

※小牧市議会議員 長田 淳氏は令和6年12月31日付で辞職いたしました。

委員会審査報告

主な審査内容と結果をお知らせします。

総務委員会

教育委員会教育長の給与、勤務条件等に関する条例及び特別職に属する職員の退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定

**結果** 賛成多数で可決  
(賛成6人、反対2人)

・教育長の給料を月額75万9000円に引き上げ  
・市長、副市長及び教育長の退職手当について、支給割合を引き下げ、特例条例を廃止

**問** 特別職の退職手当について、前回の改正はいつか問う。また、現在まで適正額の検討はされてこなかったのかを問う。

**答** 前回の改正は平成4年度に行われ、平成5年4月1日から現在の率が適用されている。山下乡長就任後、特例条例により半額としているが、特別職の退職手当の適正額を検討するに当たり、昨年度、特別職報酬等審議会の所掌事項に追加し、今年度、審議がされたものである。

福祉厚生委員会

遺児手当支給条例の一部を改正する条例の制定

**結果** 全員一致で可決

遺児手当支給要件に係る所得限度額を引き上げ

**問** 制度内容及び条例改正の内容について問う。

**答** 本市の遺児手当は、父または母のいない児童を養育している保護者に手当を支給すること、児童の健全な育成と福祉の増進を図ることを目的としている。

条例改正の内容は、遺児手当の支給要件に係る所得限度額について、扶養人数0人の場合を除いて、限度額の引き上げをするものである。



## 文教建設委員会

市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定

**結果** 出席者全員一致で可決  
(欠席1人)

**第一幼稚園と大山保育園を統合し、(仮称)第一こども園を整備**

**問** (仮称)第一こども園の建設に至った経緯と現在の状況について問う。

**答** (仮称)第一こども園は、共に園舎の老朽化等の課題を抱える第一幼稚園と大山保育園を統合し、公立の認定こども園を整備するもので、令和9年4月の開園を目指して事業を進めている。

(仮称)第一こども園は令和7年度から令和8年度にかけて現在の第一幼稚園を解体後、同敷地に建設予定のため、現在は第一幼稚園の在園児が工事期間中に生活する仮園舎の建設を中央三丁目地内に進めている。仮園舎は令和7年2月末までに完成予定であり、同年3月末に引越越し予定である。

## 予算決算委員会

令和6年度一般会計補正予算(第4号)

**結果** 出席者全員一致で可決  
(欠席1人)

〈総務分科会〉

**好調な寄附額の増加への対応**

**問** こまき応援寄附金推進事業の増額理由及び現在の寄附額の状況について問う。

**答** 11月末までの累計寄附額は、令和4年度比約110%で推移している。これに今年度取り組んでいるお礼の品と受付ポータルサイトの充実などを勘案し、当初予算の寄附見込額12億円に8億3000万円を増額して年間の寄附額を2億3000万円と見込み、必要経費を計上させていただいたものである。12月10日時点の寄附状況については、速報値で4万4685件、12億3397万円余、前年比で102.3%、令和4年度比112.4%で推移をしている。

## 福祉厚生分科会

**まなび創造館アリーナの空調機を更新**

**問** ラピオ設備修繕負担事業9075万円の内容と工期を問う。

**答** ラピオビルについては平成7年のオープンから29年経過しており、当初から稼働してきた5階



まなび創造館アリーナの空調機2基のうち1基が送風機羽根車の破断等により稼働が出来ない状況である。この空調機については、機器が古く部品の交換も出来ないことから、機器の更新を行うとしたものである。

工期は、この機器が受注生産でしか製造出来ないことから、発注から稼働ができる状態になるまでにおおよそ1年以上かかることである。そのため、急いで発注をかけたとしても来年の冬頃となると想定されることから、今回債務負担で補正予算計上したものである。

## 文教建設分科会

**小牧山城の築城当時の様子をCGで再現、現地で視聴可能に**

**問** 小牧山城再現CG制作委託事業の内容を問う。

**答** 史跡小牧山については、



織田信長が築いた小牧山城の石垣等の復元整備を令和3年度から令和7年度までの予定で進めている。整備においては、築城当時の高さまでの復元は行わず、発掘調査で見つかった残存する石垣の高さまでの復元にとどめ、本来の石垣の高さは植栽等により表現をしている。

このため、市制70周年記念事業として、これまで復元整備を行った石垣や大手道等5か所について築城当時の石垣の様子等をCGで再現し、現地の様子と重ね合わせて、来訪者がスマートフォン等で音声解説とともに御覧いただけるようにするものである。

職員の副業・兼業による地域貢献活動



余 語 智

こまき民主市議団



動画をチェック

問

多様で柔軟な働き方への需要の高まりや、人口減少に伴う人材の希少さが増している中、地方公務員も副業・兼業による地域貢献活動のコーディネート等として、公務外でも活躍が期待されている。

①職員が報酬を得て副業・兼業を行う許可基準を問う。②職員の地域貢献活動の状況を問う。③職員の副業・兼業の許可を得る地域貢献活動をどのように考えているのか問う。

答

①営利企業との間に特別な利害関係や利害関係の発生のおそれが認められる場合、職務遂行に支障がある場合及び地方公務員法の精神に反すると認められる場合に該当しないときに限り許可を与えることができる。②PTAや子供会、自治会、消防団の活動が多く、他にもジュニアスポーツの育成指導等様々な活動を行っている。また、青年会議所や地域協議会でも活動している。③様々な資格・能力を有する職員が休みの日等に地域のために能力を活かすのは有益であるので、具体的な事例を示しながら、地域活動等の兼業が進むよう、柔軟な制度を整備していきたい。



文化の殿堂・市民の憩いの場である市民会館



こまき民主市議団  
小川 真由美



動画をチェック

問

市民会館リニューアルオープン  
①大規模改修工事の現状及びオープンまでのスケジュールを問う。  
②リニューアルイベント催事を問う。  
③飲食が出来るようにキッチンカー出店等の許可検討の考えを問う。

①令和5年11月1日から休館し、令和7年3月21日までを工期として、給排水管の布設替、北側を除く全てのトイレの更新及び洋式化、展示場の機能拡大、音楽スタジオ増設、空調、舞台機構設備、ホール舞台照明などの改修等を実施。11月1日から、一部利用を再開したが、施設全館の一般利用は空調機の改修が完了した令和7年4月1日からとなる。展示場については、一般利用開始までの間、小牧市文化協会に美術作品等の展示を依頼している。



答

②3月22日から3月30日までの間、漆芸家の浅井啓介氏による作品展、3月30日には大黒摩季コンサートを企画。また5月18日には市制70周年記念式典を開催予定。  
③キッチンカーの利用などについては、主催者からの申し出があれば、催事の内容等を確認しながら適切に対応する。

社会福祉協議会との連携



佐 藤 悟

こまき民主市議団



動画をチェック

問

社会福祉協議会との事業連携について  
①市から社会福祉協議会への委託事業で、廃止または縮小を検討している事業があるか問う。②委託事業で、新規または拡大を検討している事業があるか問う。

答

①社会福祉協議会に運営管理を委託している「ふれあい高齢者デイサービスセンター」と「岩崎デイサービスセンター」の2か所のデイサービス施設の廃止を検討している。市が当該施設を設置した当時は、市内に同種の施設はなかったが、介護保険制度が創設され、民間事業者によるデイサービス事業への参入が進み、受入体制は整っている。②相談・支援業務の強化のため、生活困窮者自立相談支援事業を委託する検討を始めた。本事業は、市自らが実施しているが、相談者が利用する支援策は、社会福祉協議会が実施している善意銀行や生活福祉資金の貸付けなどが多い。また、社会福祉協議会には、社会福祉士などの専門職が在籍し、障がい者や高齢者の相談業務を実施しているほか、ボランティアなどとのネットワークを持つ。



## 青年の家の今後の運営



牧政会  
阿部 哲己



動画をチェック!

**問** ①青年の家の現状と利用状況について問う。②今後の在り方について青年の家運営委員会での議論の結果を受けた市の考えについて問う。

**答** ①青年の家は、今年で開館から60年が経過し、建物は老朽化による雨漏り等や設備の更新が必要な状態だが、小牧山全体が国の史跡であり建替えができない。また、修繕には多額の費用が必要である。建物の北側は、県により土砂災害特別警戒区域に指定され、風水害や地震により北斜面の崩壊等が発生した場合には倒木や土砂崩れによる建物の倒壊が懸念される。近年の利用率は3割に満たない低い状況で、青少年の利用は全体の約2割である。②市は、青年の家運営委員会において建物の修繕には多額の費用を要すること、利用率の低下が続いていること、土砂災害特別警戒区域に指定されていること等から、令和8年3月末をもって青年の家を廃止する案を示した。2回にわたる運営委員会委員の意見を確認し、委員の全会一致で廃止案に同意をいただいた。従って、令和8年3月末をもって廃止する方向で今後事務を進める。



## 教育・保育の提供体制確保に向けての取組



公明党小牧市議団  
加藤 晶子



動画をチェック!

**問** ①今後5年間の教育・保育の地区別の量の見込みと確保方策について問う。②「こども誰でも通園制度」についての概要と実施に向けての取組状況について問う。

**答** ①策定中の市こども計画の量の見込みでは、東部・西部地区のこどもは減少傾向、中部地区は横ばい傾向だが、保育需要の高まりにより今しばらく保育園等の入園申請者は増加する見込み。量の確保方策では、今後、公立の小規模保育園は令和7年5月頃、民間の小規模保育事業所3施設は令和8年4月までに、誘致した私立保育園は令和8年4月、第一こども園は令和9年4月の開園を目指す。②こども誰でも通園制度は、令和8年度から全自治体で実施され、生後6か月から満3歳未満の未就園児が対象で、実施場所は保育園や児童館など様々。本市では、保育士不足と空きスペースの不足などの課題から保育園等の一時保育の余力の中で実施するのは困難だが、在宅家庭の保護者への支援は重要。今後整備予定の第一こども園などでの実施や子育て世代包括支援センターや大城児童館の一時預かりの空き枠も含めて実施に向けた体制整備を検討する。



## 都市計画道路北尾張中央道



牧政会  
鈴木 裕士



動画をチェック!

**問** ①市内における北尾張中央道の整備状況について問う。②入鹿出新田工区における市道の裏道対策事業の内容について問う。

**答** ①4車線化整備は、愛知県において、市内の二つの工区で工事や準備が進められている。原川から合瀬川までの「自才前工区」では現在、自才前交差点西側の横断歩道橋の工事が実施されている。村中小学校北交差点から大口町境までの「入鹿出新田工区」では、愛知県公安委員会との協議が整い今年度より一部区間で工事着手されるが、懸案事項の信号機は、2箇所ある押しボタン式信号機のうち、西側は交差点信号機へ変更され、整備されることになっている。②中央分離帯設置の制約から周辺道路を整備する。入鹿会館東側道路の宮後1号線は、一部区間において河内屋川を暗渠化し、幅員8m程度の道路に整備し、交差点信号機へ変更となる村北1号線との交差点付近では、隅切り整備と南側の一定区間を拡幅する。また、北側で並行する郷内1号線で道路整備を予定している。



## 生活困窮者の自立支援



公明党小牧市議員  
星熊伸作



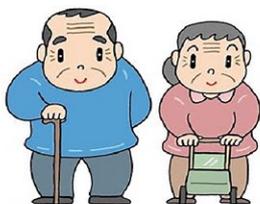
動画をチェック

### 問

①市内単身高齢者の世帯数を問う。②住宅確保が困難な者への支援事業の改正点について問う。③安否確認や福祉サービスへのつながりを行う居住サポート住宅との連携について問う。④支援機関につながない生活困窮者の把握はどのように実施していく考えか問う。

### 答

①9813世帯、総世帯数の13.9%（令和6年10月時点）。②生活困窮者自立支援法等の改正があり、令和7年4月から施行される。支援としては、生活困窮者自立相談支援窓口で住まい等の相談に対応することを明確にし、相談をしやすくする。「一時生活支援事業」を、賃貸住宅に入れない高齢者等も想定した「居住支援事業」に改める。住居確保給付金制度を拡充し、安い家賃の住宅への転居費用も給付対象とする。③居住サポート住宅が整備された折には、入居中の見守りや相談機能を活かし、生活困窮者などが良い環境で生活できるよう連携していく。④民生児童委員から寄せられる情報などで把握しているが、限界があるため、サロンなどの地域の居場所に職員が出向き「気になる」方を把握していく。



## 0・1・2歳児の保育



こまき民主市議員  
諸岡英実



動画をチェック

### 問

昨年度から始まった0・1・2歳児の保育料無償化は大変好評だが、保育需要が増え、待機児童が発生している。保育の受け皿を求めて利用料の高い認可外保育施設を利用する親も多く、認可保育園に入れた児童とやむなく認可外保育施設を利用しての待機児童とで経済的不公平感が生じている。①本年12月時点の待機児童および隠れ待機児童数を問う。②認可保育園への入園を希望する待機児童がやむを得ず認可外保育施設を利用する場合の利用料を補助する考えはあるか問う。

### 答

①待機児童は0歳児89人、1歳児56人で、隠れ待機児童は2歳児48人。②認可外保育施設は、認可保育園等とは利用要件が異なるため市独自の保育料無償化の対象外だが、委託契約を結んだ認可外保育施設を利用する保護者の負担軽減策は以前から検討している。しかしながら、課題の整理や解消に時間を要するため、今後の施設整備の状況と待機児童数の推移を注視し引き続き検討する。保育需要の増大に保育の受け皿の整備が追いついていないことが根本的問題であり、現在事務を進めている施設整備計画の推進を最優先する。



## 空家等対策



牧政会  
永井孝典



動画をチェック

### 問

①空家等の現状について問う。②空家等対策の取組について問う。③管理不全空家等の対応について問う。④空家等対策計画中間見直しの検討状況について問う。

### 答

①空家等の数は令和2年度の調査結果をフォローアップしてきており、590棟まで減少しているものの、現在調査途中の実態調査では、空家等が相当数発生しており増加を見込んでいる。②空家等対策計画に基づき、日常的な相談・苦情の対応、緊急時の条例に基づく対応の他、不動産団体2団体と協定を締結し相談窓口の開設、セミナー・個別相談会の開催、空き家バンクの運営などの連携した取組や空家等除却工事費補助金による財政支援など実施している。③本年度内に管理不全空家等の認定基準を定め、法律に基づく対応を進めていきたい。④現在実施中の実態調査の結果の分析及び現計画の効果検証を行い、来年度、中間見直しを行う。今後は、空き家の発生抑制に向けた取組に力点を置き、より効果の高い空家等対策を進めていきたい。



## 女性の視点を取り入れた防災対策



公明党小牧市議員  
佐藤 早苗



動画をチェック!

**問** 能登半島地震から約1年が経過した。災害時に女性は、より大きな影響を受ける可能性がある。①女性に配慮した避難所運営についてどのように考えているか伺う。②女性防災リーダーの育成について伺う。③フェーズフリー（備えない防災）の取組について伺う。

**答** ①避難所運営には女性への配慮も必要のため、運営委員会構成員に女性を3割以上置くと、地域協議会の防災部会等で周知・啓発しており、安心・安全に避難所生活が送れるよう環境整備に努めている。②市が開催する「地域防災リーダー養成講座」に多くの方が参加されるよう呼びかけ、地域協議会の防災部会でも女性の視点を交えた協議がされるよう努める。③「フェーズフリー」とは、平常時と災害時の「フェーズ（段階）」を取り払い、日常生活の中で災害時にも役立つ取組や製品を活用していく考え方。「ローリングストック法」等一人が日常の延長線上で災害に備える「フェーズフリー」を推進することは重要であり、「広報こまき」のほか、総合防災訓練等様々な機会に、市民に周知・啓発を図る。



## 都市計画マスタープラン改定における桃花台の土地利用



日本共産党小牧市議員  
猪飼 健治



動画をチェック!

**問** ①桃花台に生活利便施設の立地誘導をしながら、一方で学校統廃合をどのように整合的に進めていくのか見解を問う。②今後桃花台の土地利用に関して、具体的にどのような変更を加えることを考えているのか伺う。③桃花台線旧車両基地跡地の利用について、アンケートではどのような要望の声が多かったか、また愛知県との協議はどう進んでいるか伺う。

**答** ①具体的な地域別再編計画の検討状況を注視し、整合性を検討する必要があると考える。②住居系用途地域は、用途地域の整合を図り、地区計画は画一的ではなく、それぞれの地域ニーズに応じた変更を検討し、幅広い世代に居住地として選んでもらえるまちづくりを進めていく。桃花台センター地区の商業地は、商業集積の維持・充実を図るため、新たな地区計画の設定を検討していく。桃花台線旧車両基地用地は、必要に応じ用途地域や地区計画を検討していく。③アンケートでは、スーパーや飲食店など商業用地としての利活用が最も多く、次いで医療福祉用地であった。現在、愛知県と小牧市の共同で公募によるサウンディング型市場調査を実施している。



## 国民健康保険税



無会派  
黒木 明



動画をチェック!

**問** 一部自治体では日本人と比べ、外国人の国民健康保険税の納付状況が悪く、金額的にも自治体の大きな負担になっている。①日本人と比較した外国人の納付状況を問う。②国籍別納付状況を問う。③外国人の未納額を問う。

**答** ①令和5年度の現年度分の決算額では外国人が世帯主である世帯の収納率は73.7%、日本人が世帯主である世帯の収納率は94.4%である。②外国人が世帯主である世帯で世帯数の多い国順に5か国、ブラジル、フィリピン、ペルー、ベトナム、中国とそれ以外の国の納付状況は、ブラジルが70.4%、フィリピンが69.3%、ペルーが63.1%、ベトナムが73.4%、中国が94.8%、それ以外の国が75.6%である。③令和5年度の現年度分の決算額で、外国人が世帯主である世帯の調定額から過誤納還付未済額を含む収入済額を差し引いた額は、2897万4560円である。



## 高齢者の移動手段の充実



日本共産党小牧市議員  
山田 美代子



動画をチェック!

### 問

こまき巡回バスの令和8年4月の編成案について①運転手を10人減らす理由を問う。②運行負担金を減らす理由を問う。③利便性を確保できるのか問う。

④利用率が低いタクシー券について④80歳以上に一律で配布の考えはないか問う。⑤今後の高齢者の移動手段について問う。

### 答

①再編運行は、今後も続くと予測される運転手不足の影響を大きく受ける。現在の運行事業者から、安定的・持続的に運行するためには、運転手は10人程度減少せざるを得ないと聞いている。②運行負担金は燃料費等の経常的な経費の削減に努め、利用促進を図る必要があると考えられる。③ルートは乗り継ぎ不便さの軽減を図り、便数が減少する支線系路線等は、高齢者の利用状況を分析し、運行時間帯等を検討する。④バス停まで歩くことが困難な方と考え、要介護1以上の方を対象としており、一定年齢以上の方に一律で交付する考えはない。⑤多方面から検討を進めている。住民団体等が行う高齢者移動支援活動を介護保険サービスとし、運営費を補助している。新たな実施団体発掘のための紹介セミナーを予定している。



## 公共下水道事業



日本共産党小牧市議員  
安江 美代子



動画をチェック!

### 問

①下水道使用料は平成2年から市の施策として据え置いてきたが、国の主導で方針転換せざるを得なかったことは、行政を進めるうえで整合性がない。見解を問う。②使用料値上げによる影響額を問う。③使用料値上げをせざるを得ないのであれば住民負担を軽減するために、都市計画税の引き下げを提案するが、見解を問う。

### 答

①下水道事業が「整備」から「維持管理」へ転換期を迎える中で、国からは持続可能な事業運営となるよう企業会計の導入による経営状況の「見える化」や適正な収支構造への見直しなどが要請され、使用料の適正化を図る必要性が高まっている。これらのことから、効率的な事業運営に一層努めるが、将来にわたり安定した下水道サービスを提供するためには使用料改定が必要となってきた。②仮に審議会の答申のとおり使用料収入を約30%増加させる改定を実施した場合、年間約3億4千万円増加が見込まれる。③本市の財政状況は、歳出の伸びを賄う財源の確保が非常に難しい状況であること、都市計画事業は下水道事業以外にもあり、一般財源の更なる投入は他の市民サービスへの影響が懸念されることから、引き下げを現時点で考えるのは難しい。

## 共同親権・共同養育に関わる 子どもの権利



無党派  
伊藤 皇士郎



動画をチェック!

### 問

両親の離婚に巻き込まれた子どもの権利を守るために、①養育費確保のためのさらなる支援について伺う。②親子交流面会事業の実施について市の考えを伺う。

### 答

①養育費の取決めにかかる養育費確保支援助成金として「公正証書等作成費用」と「養育費保証契約保証料」の一部を令和6年度から助成している。国は、その後の「こども未来戦略加速化プラン」において、養育費確保支援の強化として養育費の取決め等の相談にのる弁護士報酬への補助を施策に追加したため、本市の養育費確保支援助成金の対象を拡大し、弁護士相談費用の一部を助成対象とすることを検討する。②全国的には親子交流の支援を実施している自治体もあり、当事者のみで親子交流が難しい場合に親子交流支援団体等が交流のためにサポートする方法や、親子交流の相談窓口の設置やセミナーを開催する方法など様々である。どのような支援方法が効果的か、他の自治体の実施状況や親子交流支援団体等の活動内容について調査・研究する。



## 不妊治療に対する助成



こまき民主市議員  
谷田 将典



動画をチェック!

### 問

不妊治療のニーズは年々増加しており、令和3年、生殖補助医療で7万人の赤ちゃんが誕生した。令和4年に保険適用になったが国・県の助成が無くなる事で未だ経済負担は大きい。更に本市の不妊治療等助成事業では生殖補助医療は助成対象外となっている。豊山町では独自に20万円の補助を実施している。心身や経済の負担が大きい不妊治療を支援し、本市も拡充すべきと考えるが見を問う。

### 答

不妊治療には一般不妊治療と生殖補助医療がある。令和4年4月から不妊の基本的な治療は保険適用となったため、県は生殖補助医療の助成を終了し、県内自治体でも一般不妊治療に対する助成を廃止する動きがあったが、本市は、引き続き一般不妊治療に対する助成を継続している。経済的な理由で生殖補助医療の治療をあきらめざるを得ない状況を生じさせない環境づくりが必要であると考えており、助成の範囲を拡大する検討を進めている。今後、助成とプレコンセプションケアの双方の視点で支援する。本市は「こども夢・チャレンジNo.1都市」を標榜しており、今後もできる限り応援していくことが基本姿勢である。



## 快適で清潔なまちづくりの推進



こまき民主市議員  
小沢 国大



動画をチェック!

### 問

市民の美化意識の向上に向けた取組を！

小牧市快適で清潔なまちづくり条例の見直しも含め、ごみ散乱防止市民行動の日についても、時代に合わせて対応していく必要があると思う。①路上喫煙禁止区域の拡大の考えはないか問う。②指導及び勧告について実施されたケースがあるか問う。③ごみ散乱防止市民行動の日の開催方法を改める考え方がないか問う。

### 答

①区域拡大は歩行者の通行量が多く路上喫煙対策が必要なが大前提。地域住民の理解と協力が不可欠で、監視体制の確保等の課題もあるため、まちづくりの進捗状況等も鑑み慎重な検討が必要。②勸告、命令、罰則の適用事例はないが、指導実績はある。③快適で清潔なまちづくり協議会で、「会場の市民会館は文化施設で時期が文化イベントの繁忙期となる」「10月でも真夏日となり健康に影響を与えかねない」「PR効果を狙うなら小牧駅前が適当ではないか」等の意見が出され、これを踏まえ、現在会場を検討しており、小牧駅前での開催も視野に入れ、次回協議会で再協議したい。



## 桃花台地区の人口減少対策



無党派  
大上 利幸



動画をチェック!

### 問

①車通勤が必要になった子世代が転居している等駐車場不足の課題を把握しているか伺う。②子育て世帯が住める住宅が不足していることを把握しているか伺う。③二世帯住宅の推進をして人口増を図る考えはあるか伺う。④県営住宅を統廃合して新規住宅開発を行い人口増を図る考えはあるか伺う。

### 答

①②桃花台地区の駐車場については、(一財)桃花台センターなどが運営管理する月極駐車場では、若干の空きがあると把握している。住宅については、インターネット上の不動産サイトでは、多くの物件を確認できる。一方、昨年9月に実施した桃花台線旧車両基地用地に関するアンケートでは、現駐車場の拡大や住宅用地として活用すべきとの回答が一定数あったことから、現状を調査分析する必要があると考えられる。③若年世代の転出超過が顕著であり、まずは若年世代の定住促進策を軸に取組を進めたい。④県営住宅の本来の設置目的が、低額所得者の公的な住宅の確保などであることから、まずは県の考えや東部まちづくり審議会などの意見を聞き、市の意思決定をしていく必要があると考える。



## その他の質問

- |                     |          |                     |         |
|---------------------|----------|---------------------|---------|
| ● 救命率向上に向けた救急業務体制   | (余語 智)   | ● 交通渋滞緩和に向けた取組と安全対策 | (小沢 国大) |
| ● AEDの普及            | (小川 真由美) | ● 一般公用車             | (大上 利幸) |
| ● 救急車の利用            | (小川 真由美) | ● ふるさと納税(こまき応援寄附金)  | (大上 利幸) |
| ● 教科書バリアフリー法改正に伴う取組 | (加藤 晶子)  |                     |         |
| ● 国民健康保険            | (鈴木 裕士)  |                     |         |
| ● 労働者協同組合           | (星熊 伸作)  |                     |         |
| ● 若年世代の悩みに対する支援     | (諸岡 英実)  |                     |         |
| ● マイナ保険証の普及と利用促進等   | (佐藤 早苗)  |                     |         |
| ● 空き家・空き室対策と大学との連携  | (猪飼 健治)  |                     |         |
| ● 新型コロナワクチン接種       | (黒木 明)   |                     |         |
| ● ごみ集積場に排出される資源     | (黒木 明)   |                     |         |
| ● 0・1・2歳児保育料無償化の影響  | (安江 美代子) |                     |         |
| ● 犯罪から身を守るための取組     | (伊藤 皇士郎) |                     |         |
| ● グラウンド             | (谷田貝 将典) |                     |         |



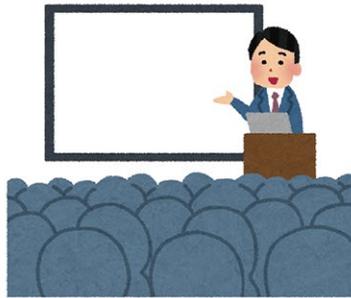
### お詫び

議会だよりNo.208(11月1日発行)において誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。  
(訂正箇所)  
P16 安江美代子議員の一般質問の「問」内、「18歳で未成年であり、」↓「18歳で未成年であり、」

## 11/20 議員研修会

「コンプライアンス研修  
〜真に市民全体の  
奉仕者であるために〜」

弁護士の田口勤氏を講師に迎え、議員研修会を開催しました。  
研修では、市民全体の奉仕者である議員に求められるコンプライアンスについて、弁護士の視点から話を聴講し、大変貴重な時間となりました。  
講義の内容を深く心にとどめ、これを十分に活かし、今後の議会活動に役立ててまいります。



### 次回定例会のお知らせ(予定)

- ・ 2月25日(火) 本会議(招集日)
  - ・ 3月5日(水) 本会議(一般質問)
  - ・ 3月6日(木) 本会議(一般質問)
  - ・ 3月10日(月) 本会議(一般質問)
  - ・ 3月11日(火) 本会議(一般質問)
  - ・ 3月12日(水) 総務委員会
  - ・ 3月13日(木) 福祉厚生委員会
  - ・ 3月14日(金) 文教建設委員会
  - ・ 3月18日(火) 予算決算委員会
  - ・ 3月21日(金) 本会議(最終日)
- 日程等は、招集告示日  
に開催される議会運営  
委員会において正式に  
決定されます。  
● 議事の都合により、日  
程が変更になる場合が  
あります。



## 市制施行70周年記念 ～市議会のあゆみ～

昭和30年1月1日、小牧町・味岡村・篠岡村の旧3か町村が合併し、県下で21番目の市として「小牧市」が誕生しました。

同年1月8日には、旧3か町村議会議員（定数69名）がそのまま市議会議員となり、最初の小牧市議会が招集されました。

当時69名の議員を収容できる議場がなく、旧小牧町役場の2階会議室に机を学校のように並べただけの本会議場であったと伝えられています。

この第1期市議会は、決算認定を終えた9月議会最終日に総辞職し、第2期市議会議員選挙が昭和30年10月9日に執行され、当選した30名の議員により第2期小牧市議会がスタートしました。

(次号へ続く)



▲議場風景(昭和30年市制要覧)

令和7年1月1日、小牧市は市制施行70周年を迎え、小牧市議会においても、最初の議会が招集されてから70周年を迎えました。市議会のこれまで歩んできた歴史を本年発行の各号にてご紹介いたします。

小牧市議会は初招集から70周年を迎えました

# 議会報告会と 市民の意見を聴く会

ご来場  
お待ちしております！

**4月26日(土)** 市公民館講堂  
10:00-11:30  
(9:45開場)



▲ 詳細はこちら

手話通訳・要約筆記あり(要予約)  
どなたでもご参加いただけます。  
※必要な方は4月4日までに  
お申し込み下さい。



### ◇5月1日号議会だより表紙写真募集

〈募集する写真について〉

- テーマ 市民の元気が伝わるもの等
- 応募期限 4月4日(金)まで。
- 提出先 小牧市議会事務局
- 電話(76)1168・1169
- FAX(76)0360
- Eメール gikaigiji@city.komaki.lg.jp

〈注意事項〉

- 応募は、市内在住・在勤・在学の方のみです。
- 応募写真は、広報広聴委員会で誌面構成を考慮し、1枚掲載いたします。(選考結果の報告はいたしませんのでご了承ください)
- 応募写真・提出者の氏名・連絡先・撮影日・撮影場所をデータで提供してください。なお、著作権は市議会に帰属します。
- 被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上で、応募ください。
- 令和7年2月1日から4月4日までに撮影された写真であること。

